

## サマリー

### アジア・太平洋及び大西洋市場の天然ガス事情と LNG 需給動向（2007 年度）

戦略・産業ユニット 石油・ガス戦略グループ 主任研究員 森川 哲男

2000 年以降、世界の LNG 需要は天然ガス自体の需要の伸びをはるかに上回る 8%/年で増加してきた。需要地域としては、日本を中心とするアジア市場が 65%、欧米市場が 35% を占めている。

世界の LNG 需要は今後 4.1～4.9%/年で増加し、2030 年には 4 億 3,500 万～5 億 1,700 万トンに達すると見込まれる。地域別に見ると、アジアの需要は 2007 年の 1 億 1,258 万トンから 2.1～3.0%/年で増加し、2030 年には 1 億 8,200 万～2 億 2,300 万トンに達する。欧州・北中南米の需要はアジア市場より高い伸び率で推移し、2010 年台半ばにアジアの需要を上回ることが想定されている。

一方、供給面を見ると、新規液化プロジェクトが順調に立ち上がれば、需要を満たすことが可能である。また、欧米向けの供給力は既にアジア市場供給ポートフォリオに組み込まれており、短中期的にアジア市場での需給調整に重要な役割を果たすことが見込まれる。

今後のアジア向け LNG 需給を見る上で重要なポイントとしては、欧米経済の失速程度、Henry Hub 価格レベル、柏崎・刈羽原子力発電所の復旧時期、LNG プロジェクトへの投資環境の悪化、非在来型 LNG プロジェクトが現実化といった点が挙げられる。

お問い合わせ先: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)